

議会報告「市民との意見交換会」記録

(令和6年5月18日(土) 加西市健康福祉会館研修室)

1部 議会報告

問：庁舎増築について、12月議会で一旦否決され、3月議会で再度出され可決されましたが、3か月間で内容に変化があったとか、中身が詰まっていたのでしょうか。12月に反対し3月に賛成された3議員にご意見をお聞きたいです。

答：この会は、議員個人の意見を言わないのが基本です。12月議会では、具体的な説明がなく、中身がわからず議論にならないために反対された議員もおられたと思います。それを経て、2月の閉会中総務常任委員会において、具体的内容の提示があり、審議するとともに、3月議会で正式に提案があり議論が深まり、結果的に、賛否が分かれ8:6の賛成多数で可決されました。

問：こども家庭センターの設置について、健康福祉会館では施設が足りないとのことであったと思いますが、3階には使用していない部屋が半分あるにもかかわらず、増築することに納得いかないのですが、空いている施設での設置の検討はされなかったのですか。

答：業務が分散していることが市民サービスや業務効率の面から問題であるため、業務を一本化したいというのが、執行者側の大きな目的の一つです。よって、執行者側は、健康福祉会館にこども家庭センターを設置するという検討はしていません。

問：福祉関係の仕事をしていますが、健康福祉会館と本庁と距離があって不便ということですが、利用者にとっては不便なことはありません。不便か不便でないかを自分勝手に判断するのではなく、利用者に聞いてください。

また、35億円をかけて施設をつくるくらいなら、本当に生活に困っている人に使ってもらいたい。

答：健康福祉会館の横に池を埋め立てて未来型児童館を建設するという計画があり、費用は示されていませんでしたが、このまま進めることは問題であると判断して現市長はそれを中止されました。そして、本庁舎裏の土地を有効活用して庁舎を建て、防災や災害対策、子育て支援や障害者福祉を増進しようとされています。

問：高齢者の安心ある暮らしと適正な介護保険事業の実現ための計画が執行者側から提案され、議会では何の議論もないまま全会一致で可決されています。現場のことを知らないまま、議論もしないまま可決されていますが、議員のみなさんは計画についてどのように考えておられるのでしょうか。

答：この高齢者福祉計画・介護保険計画はあまりにも内容が多過ぎて、いきなり委員会に提案されても議論が深まらないため、事前に執行者に出席いただいて勉強会

を開催しています。決して、議員が福祉に関心が低いわけではありません。ただし、市民の皆様から見れば、何も審議せずに可決されたと捉えられても仕方ないかと反省しています。貴重なご意見をいただきましたので、どのような形で進めていくことが良いのか議員全員で取り組んでいきます。

問：市の幹部や議員の方々は「金を出さずに知恵を出そう」ができているのでしょうか、もっとコスト意識を持って欲しいのです。こども家庭センターについて増築が必要なのか、病院建設や学校再編についても、もっと徹底的に考えて知恵を出してやってきておられるのでしょうか。加西市も人口が縮小する中、消滅可能性自治体の一つとなっています。コンパクトシティの考え方も、これは両刃の剣ではありますが……

答：今お話しいただきました内容につきましては、執行者側と力を合わせながら、どのような取り組みができるのか議員間で意見を出し合いながら、議会として対応を検討していきたいと思います。

問：庁舎増築のテーマが一番上に上がってないのはなぜなのでしょう。学校再編、新病院建設、議員定数より先に行われるのが庁舎増築だと思うのですが。実施設計が議決されただけで、建築費35億円に関しては何も決まっていないはずです。それについての意見交換をするべきです。市議会だよりに総工費35億円を記載されるべきと思いますが、なぜ隠すように7,500万円としか書かないのですか。これを見た人は7,500万円で増築できると誤解されると思います。

答：議会で審議した内容について議会報告をしまして、35億円かかるかどうか分かりませんが、まだ議案として上がっていないので記載していません。

問：庁舎増築についての意見交換会をいつされる予定なのですか。病院や学校よりも先の2年後に建つということですので、早急にするべきではないでしょうか。

答：いつするかはここでは決めることはできません。議会は、執行者側から提案がないと議論ができません。市民からの意見を聞いていくことは、議会としても取り組む必要があると思います。

問：市民側がそのような場を設ければ、議員や市長が出席をして意見を聞いていただけののでしょうか。

答：審議の中で、執行者側が市民の意見を聞いていくとの答弁がありましたので、そのような機会は設けられると思います。

問：市民の声を聞いてから計画を出すべきなのに、まだ聞けていないというのは矛盾しています。市民の声を聞いてから計画を出すべきではないでしょうか。

意見(参加者)：言われているのはその通りだと思うのですが、言う相手が違うのではないですか。議会としては、議決があったことについての報告をされていて、要望があるのであれば、議会ができる限りの要望をすればいいのであって、今の意見は

市長はじめ市役所の方に言うべきで、計画の白紙撤回の要望ならそちらの方にするべきと思います。

問： 市長は独断でやっているのではなくて、市議の方が賛成されて決まっています。それに対しての意見交換はいつされるのかお聞きしたいのです。

答： いつするのかというのは、ここでは答えられません。

問： いつするのかは答えられないと思いますが、本当に市民の意見を聞く気があるのかはっきりして欲しいです。

答： この度の意見交換会は、この3つのテーマに絞って市民の皆様からご意見をいただくという趣旨で実施しています。初めての試みとして、一人でも多くの方にご意見を言っていただけるよう車座形式で行うこととしています。この3つのテーマで行うことを全議員で決定しましたのでこの3つのテーマでご議論をお願いします。

問： この3つのテーマより先にやるべきテーマをなぜ意図的に外したのですか。いつ意見交換するのですか。

答： 意図的というのは誤解であって、この3つのテーマでご意見をいただきたい。いつ実施するかは、議員15人いますのでこの場では申し上げることはできません。議会報告会は各4中学校区を回り意見交換会を行っていましたが、平成27年度から各種団体との意見交換会という方向で行っていたため、広く市民の皆様からご意見をお聞きできていないのが実情です。よって、議会基本条例の原点に戻り、できるだけ多くの市民の皆様からのご意見をいただくため、このような形式で開催させていただいています。

答： 来る31日10時から市民会館視聴覚室で公聴会が開催されます。副市長や関係者が出席されますので、そこで意見を言っていただければと思います。

議会としても、このテーマに関する意見交換会を検討したいと思います。

2部 市民との意見交換会

(1) 学校再編について

① 統合中学校の必要性

- ・新統合中学校の必要性は本当にあるのか。
- ・先生のなり手が少ない中で本当に大丈夫なのか、子どもたちにもっと再編など学校が変わることをきっちり説明すべきではないか。
- ・建設場所があそこでもいいのか。加西中に集約するのはどうか。
- ・立地の問題として、通学の関係や建設場所が池を埋め立てるのは本当に大丈夫なのか。
- ・中学校は2校になってよかった。地域人口が減少していくのでその方向性は仕方ない。
- ・加西市だけではなく他の自治体も人口減少、少子化が大きな課題で学校再編を進めている。加西市ももっと早く検討し実施すべきであったのでは。
- ・このままいくと校区によっては複式学級にせざるを得ない。市全体でみても公平性の観点から早く統合するべきである。地区によっては自分の母校がなくなってしまう意見もあるが、将来を見据えた中での再編を進めてほしい。
- ・体育館についても地域の方と一緒に使えるような体育館にしてほしい。
- ・芝生のサッカー場や温水プールなど特色ある学校づくりをしてほしい。

② スクールバスなど通学手段について

- ・スクールバスの運用は地域によって変わるので、各地域で協議をしっかりとしてほしい。
- ・新統合中学校は北条高校の横になるが通学の課題がある。スクールバスの検討もあるが、今までの通学路と運用が変わってくるので、事故とか障がい者の方への配慮を十分検討してほしい。
- ・統合後のスクールバスがどういう路線になるのかわからないが、今も遠くから歩いて通学している児童のバス利用など、再編までに解決する問題がないのかしっかりと検討してほしい。
- ・立地の問題として、通学の関係、建設場所が池を埋め立てて本当に大丈夫なのか、通学方法として路線バスとスクールバスの併用も考えられるではないか。しっかりと交通機関をどうしていくのか考えてほしい。
- ・通学バスを地域の路線バスや公共交通として活用できる体制にしてほしい。
- ・子供たちの負担軽減や親の送迎が無いバスのシステム作りをお願いしたい。

③ 旧学校跡地の利用について

- ・学校再編はやむを得ないと思うが旧学校跡地利用や統合の具体例がまだ出てきていないのでとても不安。
- ・小学校再編により地域コミュニティーの単位がなくなる事は本当に大丈夫なのか。既に少子化の影響で美バースとか地域の行事が以前のようにできなくなり問題となっている。
- ・統合が進むと旧施設が増えてくるので、校舎や跡地などの再利用について、充分、各地域の方々との協議が必要である。民間の協力もいれてしっかりと取り組んでほしい。

- ・懸念材料として学校が無くなると地域の特色が失われていくのではないかと。再編統合について、もっと地域との協議が必要ではないかと。
- ・学校がなくなれば寂しくなる。地域の要望をしっかりと聞いて、廃校の活用をしっかりとすることで地域がより活性化していくよう対応してほしい。

④教育内容について

- ・当事者である中学生の意見として、統合で生徒の数が一気に増えるので一人一人の対応はどうかかわからないので不安。
- ・最終的に子供たちの良い教育環境ができるよう精神的な面も含めてしっかりとケアをしていく再編計画を考えてほしい。
- ・学校再編は中学校が2校になり、小学校は2年ごとに再編されていくが箱モノだけではなく中身を重視して魅力ある学校にしてほしい。それには教育をしっかりとしていくことが重要である。
- ・クラスの定員を減らしながら、内容的に充実した学校教育にしてほしい。
- ・地域との関連性を深め、学習内容についても地域の中で自然と触れ合うようなことも取り入れ学習していく教育環境の中身をしっかりと検討してほしい。
- ・今の体験型の STEAM 教育もしっかりとやってほしい。
- ・学校の先生方の数確保とより増やすことに努力して頂いて、子供たちの教育の中身をしっかりとしてほしい。
- ・複式学級は絶対さけるべきである。

⑤その他

- ・説明会に時間の関係で来られなかった保護者の方には、再編統合の趣旨がまだまだ浸透していない部分があるので、説明会のやり方の工夫が必要だったのではないかと。
- ・再編よりも先に少子化対策をしていかなければならない。加西市の PR が不足しているのではないかと。
- ・中学校の制服など、親として用意があるので変更事項は早めに知らせてほしい。
- ・給食も現在、加西の米を使っているが、地元の米を使いながら食の安全についてもしっかりと考えてほしい。
- ・統合は認めるが統合した後、生徒さんが他の高校に行かないように小中高一貫で必ず北条高校に進んでいくという考え方が良いのではないかと。他市町の学校に行かれると加西市から出てしまわれるので避けたほうが良い。

(2)新病院建設について

①新病院建設の必要性について

- ・新病院建設となっているが、まず市民病院自体が必要なのか議論すべき。
- ・病院を作ることが必要と決まっているならば、市民病院のビジョンや方向性、どのような役割の病院が必要なのかを明確にして、その上で新病院を建てるのか、今のところで建替えを考えるのか、しっかりとした順序立てが必要ではないかと。
- ・新病院建設の情報が不足している。新聞報道が出ただけで建替えが本当に必要なのか内

容がわからない。

- ・根本的にお金をかけて病院建替えが必要なのか。医師の確保を第一にしていかなないと病院は存続できないのではないかと、それも含めてしっかりと行ってほしい。
- ・今の加西病院の状況では役に立たないので、本当に130億を超えて建てる必要があるのか、わざわざ移転して建替える必要があるのか考えるべき。
- ・今の病院をそのまま使われないのか。移転後の病院跡地はどうされるのか。
- ・病院は移転せず、現在の場所でそのまま利用するのはどうなのか。あえてコストをかけて新築するより、そのお金を医師招聘に回した方が良いのではないかと。
- ・現在の病院への交通機関の充実を図ることのほうが重要で移転は必要ないのではないかと。
- ・この圏域で1つの自治体で1つの病院を持つというのは苦しいので統廃合も検討するべきではなかったのか。
- ・災害対応として、市川と加古川の間の病院は加西病院と高砂市民病院しかないのか、川を越えて他の病院に移動できないという意味で加西病院は必要である。

②医師の確保について

- ・現時点では医師の確保が最重要課題で確保に努力してほしい。
- ・市民全員の要望は産婦人科が欲しいということである。ぜひ、産科の先生を呼んできて頂きたい。
- ・医師の確保が重要で特に高齢者の方が安心して診療を受けられる病院を作してほしい。
- ・医師の確保に不安がある。しっかりとどうするのかを示してほしい。
- ・現在、加西病院の急患はなかなか受け入れてもらえない状況であるが、子供さんであってもお年寄りの方でもすぐに診てもらえて処置をしてもらおう、そういう病院にしてほしい。
- ・総合病院として今の科の維持は可能なのか。いい設備をいれて良い医師を確保しないといけないので設備の充実も必要である。

③建設場所と設備などについて

- ・本当に池を埋め立てる建築方法で大丈夫なのか、基礎をしっかりとしてもらわないと心配である。
- ・用地はあっているのか。クリニックゾーンの計画はそんなことが本当にできるのか。
- ・メディカルタウン構想は良い。
- ・病院の憩いの場として喫茶店を作ったり、いろいろな店が入れる雰囲気してほしい。
- ・病院には特徴として開かれた病院、コミュニティー重視の患者に寄り添う病院、そういった病院であるべきなのでしっかりと考えて作ってほしい。
- ・高齢者にとって病院は重要な施設である。まわりに老人施設を整備してほしい。

④交通の確保について

- ・病院は平地になるが交通網の確保をしっかりと考えて頂きたい。
- ・自家用車利用だけでは無く、公共交通を使っていける体制作りが必要である。
- ・交通手段がどうなるのか、今の北条から離れるのでどうなるのかわからない。

(3)議員定数について

①定数について

- ・定数については現状維持が良い。
- ・近隣でも少ない方であるので多様な意見を聞くためにも今の人数はいる。
- ・地域・市民の代表としてしっかり仕事をして頂く議員であれば現状維持で良い。
- ・地元の意見をしっかりと聞いて頂ける議員なら定数を増やしてもよい。
- ・議員には減らすべきでは無く、数より質が問題である。
- ・定数を少なくすると偏った議論になってしまうのではと市民は不安を持っている。
- ・定数の増減議論より質の確保に尽きる。
- ・女性議員をもっと増やすべきである。
- ・公平性、多様性が確保できる議会、20代など若い議員がもっと増えるべき。
- ・高齢化を考える幅広い年代議員も必要である。

②議員活動について

- ・議員のやっていることがなかなか市民からは見えない。見える化を努力してやってもらえないと評価できない。
- ・定数より浄化が大切、浄化すると透明性が出て素晴らしい議会になる。
- ・まず定数を考えるより活動内容が大切である。加西のことを真剣に考えてくれる人が出てくれるなら、定数は何人でもいいのではないかな。
- ・男女比だけでは無く、加西市にとって必要な方を議員として選ばなければならない。
- ・選出方法も校区代表としてやるのはどうか。要はそれぞれの声をどう反映できるかに興味がある。

③その他

- ・議会中継をYouTubeにして、細かく動画を分割して見えるようにしてほしい。
- ・今日のような勉強会を開いて、議員自らが市民の声を聞いて勉強していくことが大事である。